



地域が守る 安心して暮らせる安全なまち

田原市では、市内すべての地区に自主防災会が組織され、それぞれの地域特性に合った防災活動に取り組んでいます。ここでは、平成24年度の『自主防災活動重点支援地区』として、田原南部校区と和地校区が取り組んだ活動をご紹介します。▼防災対策課 ☎23局3548

自主防災会活動【事例紹介1】

田原南部校区

【人口・世帯】：自25年3月末現在

13095人・375世帯

【概要】

市の中心部からやや南西に位置し、北は山々に囲まれ、三方に農地が広がっています。1校区1自主防災会で組織され、訓練や研修などを通して、地域の防災力向上を図っています。

【取り組みテーマ】

効果的な防災・減災対策の推進、拡充

【主な取り組み内容】

- 1 家具固定講習会
- 2 木造住宅無料耐震診断の啓発・実施
- 3 女性対象の防災講習会
- 4 住宅用火災警報器の点検など

【取り組み成果】

今までと視点を変えた活動をすることができ、世代や性別を問わず、幅広く校区民への防災意識の啓発ができました。

【今後の目標】

気軽に参加できる訓練や講習会を開催していくとともに、引き続き木造住宅無料耐震診断や家具固定などの啓発を行い、防災意識の高揚を図ります。



●家具固定講習会



●避難状況を確認する自主防災会役員(避難訓練)

自主防災会活動【事例紹介2】

和地校区

【人口・世帯】：自25年3月末現在

1331人・351世帯

【概要】

市の南西部に位置し、北には緑豊かな山々が連なり、南は太平洋に面しています。3つの自主防災会では、津波からの避難対策や家屋の倒壊を防ぐための啓発活動が行われています。

【取り組みテーマ】

地震・津波対策の徹底！

新たなことにチャレンジ！

【主な取り組み内容】

- 1 木造住宅無料耐震診断啓発
- 2 地震・津波避難マップの修正・配布
- 3 防災キャンプの実施
- 4 住宅用火災警報器の設置促進など

【取り組み成果】

地震・津波避難マップの見直しなど、避難について再認識することができ、新たに取り組んだ防災キャンプを通じて、地域ぐるみで活動することができました。

【今後の目標】

マップを活用した避難訓練や、木造住宅無料耐震診断の啓発を継続的に行っていくとともに、訓練や講演会の参加者拡大を目指していきます。



●防災キャンプ



●避難訓練